

元気な地域づくりにつながる社会教育活動をめざして — 南丹地区社会教育委員連絡協議会 視察研修会 —

晴れやかな秋空のもと11月5日(土)南丹地区社会教育委員連絡協議会の視察研修会が開催されました。今年度は、各地域で学校再編が進む中、校舎の利活用等について先進的取組から学ぼうと「摩気高山子ども未来塾(旧摩気小)」と「質美笑楽講(旧質美小)」を視察し、社会教育委員として見識を深めました。

摩気高山子ども
未来塾
(旧摩気小)



宝積会長の開会挨拶



摩気高山の郷振興会の高屋会長(左)と小寺コーディネーター(右)に取組の概要等について説明いただきました。



摩気高山では、閉校した校舎を利用し、地域を担う子どもたちの育成をめざして、地域の元教員を中心に、国語や算数・理科の実験等の学習を展開されていました。また、日本の文化やふるさとについて学ぼうと、専門の講師を招聘し本格的な「だしづくり実習」や「こんぺいとう体験」等も実施されていました。

参加者からは、「しっかりと組織体制を築きながら事業を展開されていることに感動した」「地域の方のふるさとを愛する気持ちが伝わってきた」等の感想が出されました。



今も学校の雰囲気漂う施設の様子を、じっくり見学しました。



林会長代理からの説明

質美笑楽講
(旧質美小)



質美笑楽講では、閉校した校舎の建物や備品等を活かしながら、絵本のお店をはじめ、カフェや雑貨店、ピザ&パスタ店等が入り、多くのお客さんでにぎわっていました。また、地域の食材を取り入れた日替わりランチも提供されており、地域の特色を活かした校舎の利活用について学びました。

施設見学後、管理運営委員会の林会長代理から、準備から運営、今後の展望等にいたるまで説明いただき、参加者から「今後の取組の参考になった」「効果的な校舎の利活用についてしっかり考えたい」等の感想が寄せられました。

